

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	03	01	01
細事業名		奨学金給付等事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	坪倉 武広

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に奨学金を給付することにより、修学を奨励する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生 75人給付 大学生等 50人給付

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に、給付該当者を京丹後市奨学金選考・検討委員会において選考し、高校生月5,000円、大学生等月10,000円を給付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生47人給付、大学生等54人給付することにより、経済的に困窮している家庭の勉学意欲のある高校生、大学生等の修学を奨励することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	16	国庫支出金		
	9	2	府支出金		
	20	9,300	起債		
			分担金・負担金		
			その他	奨学基金繰入金	9,300
			一般財源		18
事業費合計		9,318	合計		9,318

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 未来ある生徒及び学生の修学への支援ができたと考える。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 未来ある生徒及び学生の修学への支援ができたと考える。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 未来ある生徒及び学生の修学への支援ができたと考える。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生の修学支援をするために重要な事業であるため削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生の修学支援をするために重要な事業であるため削減の余地はなかった。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生の修学支援をするために重要な事業であるため削減の余地はなかった。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 18年度から19年度で奨学金制度の見直しを行った。20年度から改正後の制度で修学支援ができていますので現状維持とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 18年度から19年度で奨学金制度の見直しを行った。20年度から改正後の制度で修学支援ができていますので現状維持とする。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 18年度から19年度で奨学金制度の見直しを行った。20年度から改正後の制度で修学支援ができていますので現状維持とする。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 勉学意欲と能力のある生徒及び学生の奨学金として修学支援を今後も続けていく為に現状維持とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 勉学意欲と能力のある生徒及び学生の奨学金として修学支援を今後も続けていく為に現状維持とする。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 勉学意欲と能力のある生徒及び学生の奨学金として修学支援を今後も続けていく為に現状維持とする。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	01
細事業名		小学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(神野小学校外壁補修工事、長岡小学校給水ポンプ装置取替工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や児童の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	13	1,879	財源内訳	国庫支出金	
	15	11,127		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	13,006
				合計	13,006

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言い難い。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言い難い。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言い難い。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。			
		B 内容の見直し							
		C 統廃合・休止・終了							
	事業規模の方向性								
<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。		B 現状維持		C 事業縮小	
A	A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。				
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号

19-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	02
細事業名		小学校施設耐震診断事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実
	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された小学校施設について、耐震二次診断を実施し、建物強度の把握と補強計画の検討を行う。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全ての小学校施設において、耐震二次診断を完了させる。 (平成22年度完了予定)

DO

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 下記の施設において、耐震二次診断を実施した。 ・京丹後市立吉原小学校 4棟 ・京丹後市立間人小学校 1棟 ・京丹後市立鳥取小学校 6棟
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 耐震二次診断を実施した建物11棟のうち、耐震性がある建物は4棟、耐震性がない建物は7棟(うち大規模地震の際倒壊の危険性が特に高いもの1棟)と判定された。 なお、耐震性がない建物については耐震補強工事の基本設計を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	12,612	国庫支出金	建築物耐震改修等事	4,894
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		7,718
事業費合計		12,612	合計		12,612

CHECK

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)
	理由	平成21年度においては、耐震二次診断を国の臨時交付金事業と併せて実施したこともあり、市内大部分の小学校で耐震二次診断を完了させることができた。(未診断校:大宮第三・黒部小学校)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
○	削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	
理由	専門的な知識と技能を要する業務委託内容であり、コスト削減の余地がなかった。	

ACTION

改善	事業内容の方向性	
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了
	理由	学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向けた耐震二次診断の実施が必要である。
	事業規模の方向性	
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小
	理由	市内学校施設における耐震二次診断については、平成22年度中で全てが完了となる。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	01
細事業名		小学校スクールバス運行管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	坪倉 武広

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 平成26年度事業の効果目標 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置により増加が見込まれる バス通学児童数 学校再配置により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) スクールバスを運行し、遠距離及び特に必要と認めた児童99人に安全に通学してもらうことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	1,304	国庫支出金		
	12	400	府支出金		
	13	15,471	起債		
	14	8	分担金・負担金		
	27	145	その他	久美浜路線市営バス	40
				久美浜バス回数券販売	10
				久美浜バス沿線地域	5
			一般財源		17,273
事業費合計		17,328	合計		17,328

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保することができた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保することができた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">遠距離及び特に必要と認めた児童のスクールバスの運行は必要不可欠であり、児童の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	遠距離及び特に必要と認めた児童のスクールバスの運行は必要不可欠であり、児童の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	遠距離及び特に必要と認めた児童のスクールバスの運行は必要不可欠であり、児童の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">児童の安全、安心を守るため、網野北、橘小学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	児童の安全、安心を守るため、網野北、橘小学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	児童の安全、安心を守るため、網野北、橘小学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	02
細事業名		小学校スクールバス購入事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	坪倉 武広

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目途に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新台数 1台 新規購入車両台数 11台

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 平成22年度から竹野小学校の児童を間人小学校へ送迎するため、新規車両2台を購入し、安全なスクールバスの運行ができるようにした。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	12	150	国庫支出金		
	18	10,045	府支出金		
	27	76	起債	スクールバス整備事業際	3,700
			分担金・負担金		
			その他	地域活力基盤創造交	5,524
			一般財源		1,047
事業費合計		10,271	合計		10,271

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置に伴い竹野小学校区から、間人小学校への新規車両購入を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校再配置に伴い竹野小学校区から、間人小学校への新規車両購入を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			学校再配置に伴い竹野小学校区から、間人小学校への新規車両購入を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、送迎人数に応じた最低限の装備の車両を購入したため、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、送迎人数に応じた最低限の装備の車両を購入したため、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、送迎人数に応じた最低限の装備の車両を購入したため、削減の余地はなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の児童の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車新規車両購入が必要となる。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	06	01
細事業名		小学校施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>2 学校教育施設の整備・充実</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実						
施策方針	2 学校教育施設の整備・充実						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。</td> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	
(どのような目的で事業を実施するか)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。			

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	18,519	財源内訳	国庫支出金	
	12	2,294		府支出金	
	13	23,471		起債	
	14	4,429		分担金・負担金	
	16	625		その他	
事業費合計		49,338	一般財源		49,338
			合計		49,338

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言い難い。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。
	事業規模の方向性			
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	01
細事業名		中学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(網野中学校教室棟三階部避難器具取替工事、峰山中学校給食調理室横通路アスファルト舗装工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や生徒の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	13	169	財源内訳	国庫支出金	
	15	2,305		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	2,474
				合計	2,474
		2,474			

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	03
細事業名		中学校施設耐震化事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された中学校施設について、大規模地震発生時に生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難場所としても活用できるように耐震化工事を施す。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全ての旧耐震基準建物について、耐震化工事を完了させる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山中学校校体育館の耐震補強工事を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 中学校施設の耐震化率向上 平成21年4月1日時点 81.6% → 平成22年4月1日時点 84.2%

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	12	80	国庫支出金	安全・安心な学校づく	31,009
	13	1,764	府支出金		
	15	40,225	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		11,060
事業費合計		42,069	合計		42,069

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">大規模地震発生時に倒壊の危険性が高いとされるIs値0.3未満建物について、耐震補強工事を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	大規模地震発生時に倒壊の危険性が高いとされるIs値0.3未満建物について、耐震補強工事を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	大規模地震発生時に倒壊の危険性が高いとされるIs値0.3未満建物について、耐震補強工事を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">専門的な知識と技能を要する工事内容であり、コスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	専門的な知識と技能を要する工事内容であり、コスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	専門的な知識と技能を要する工事内容であり、コスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向け、計画的な耐震化工事の実施が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向け、計画的な耐震化工事の実施が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向け、計画的な耐震化工事の実施が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">耐震二次診断により耐震性が劣ると判定された学校施設については、一刻も早い耐震性の確保が求められていることから、継続的に事業実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	耐震二次診断により耐震性が劣ると判定された学校施設については、一刻も早い耐震性の確保が求められていることから、継続的に事業実施する必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	耐震二次診断により耐震性が劣ると判定された学校施設については、一刻も早い耐震性の確保が求められていることから、継続的に事業実施する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	01
細事業名		中学校スクールバス運行管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	坪倉 武広

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成26年度事業の效果目標 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置の進行状況により増加が見込まれる バス通学生徒数 学校再配置の進行状況により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) スクールバスを運行し、遠距離及び特に必要と認められた生徒137人に安全に通学してもらうことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	6,271	財源内訳	国庫支出金	
	12	682		府支出金	
	13	23,406		起債	
	27	240		分担金・負担金	
			その他	久美浜路線市営バス	1,427
				久美浜バス回数券販売	410
				久美浜バス沿線地域	233
			一般財源		28,529
事業費合計		30,599	合計		30,599

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保することができた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保することができた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">遠距離及び特に必要と認められた生徒のスクールバスの運行は必要不可欠であり、生徒の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	遠距離及び特に必要と認められた生徒のスクールバスの運行は必要不可欠であり、生徒の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	遠距離及び特に必要と認められた生徒のスクールバスの運行は必要不可欠であり、生徒の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考えられる。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">生徒の安全、安心を守るため、峰山・弥栄中学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	生徒の安全、安心を守るため、峰山・弥栄中学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	生徒の安全、安心を守るため、峰山・弥栄中学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	02
細事業名		中学校スクールバス購入事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	坪倉 武広

PLAN									
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>2 学校教育施設の整備・充実</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実		
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市								
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実								
施策方針	2 学校教育施設の整備・充実								
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目途に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。</td> </tr> <tr> <td>事業の目的</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目途に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。	事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台</td> </tr> </table>	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台
(どのような目的で事業を実施するか)	スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目途に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。								
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台</td> </tr> </table>	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台				
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)								
	車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台								

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 購入後13年を経過した峰山中学校スクールバス車両1台を車両更新することにより、安全なスクールバスの運行ができるようにした。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	12	75	国庫支出金		
	18	12,953	府支出金		
	27	69	起債	スクールバス整備事業際	9,400
			分担金・負担金	その他	へき地生徒援助費等
			一般財源		1,197
事業費合計		13,097	合計		13,097

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている)</p> <p>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 峰山中学校スクールバスの車両更新を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。</p> <p>○ × 遅れている(できていない)</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった</p> <p>○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 老朽化した車両の更新は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、送迎人数に応じた最低限の装備の車両を購入したため、削減の余地はなかった。</p> <p>○ × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A A 現状維持 理由 スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の生徒の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。</p> <p>B B 内容の見直し</p> <p>C C 統廃合・休止・終了</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>A A 事業拡大 理由 学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車新規車両購入が必要となる。</p> <p>B B 現状維持</p> <p>C C 事業縮小</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	06	01
細事業名		中学校施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN									
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>2 学校教育施設の整備・充実</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実		
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市								
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実								
施策方針	2 学校教育施設の整備・充実								
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。</td> </tr> <tr> <td>事業の目的</td> <td>学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。</td> </tr> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> <tr> <td>学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。</td> <td></td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	事業の目的	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。	
(どのような目的で事業を実施するか)	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。								
事業の目的	学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。								
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)								
学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。									

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	8,487	財源内訳	国庫支出金	
	12	964		府支出金	
	13	8,247		起債	
	14	3,015		分担金・負担金	
	16	222		その他	
			一般財源	20,935	
事業費合計		20,935	合計		20,935

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言いがたい。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言いがたい。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言いがたい。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。				
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。					
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	A	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。				
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
	事業規模の方向性						
A	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。					
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	03	01
細事業名		幼稚園施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しく、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設危険箇所の改修工事を行った。(危険遊具撤去工事)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の改善や園児の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	15	93	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		93
事業費合計		93	合計		93

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	06	01
細事業名		幼稚園施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	砂井一弘・三浦知史

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	323	財源内訳	国庫支出金	
	12	75		府支出金	
	13	736		起債	
	14	231		分担金・負担金	
	16	20		その他	
事業費合計		1,385	一般財源		1,385
			合計		1,385

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言い難い。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言い難い。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言い難い。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	04	01	
細事業名		外国語指導助手招致事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課
担当課長の氏名	糸井 嘉彦
担当者の氏名	田辺 聖子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校での外国語教育及び国際理解教育の促進 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 自治体国際化協会のJETプログラムによるあっせんを受け、6人の英語指導助手を招致・採用し、市内6つの拠点中学校へ配置。小中学校の児童生徒への英語教育を行った。特に平成21年度から小学校において新学習指導要領による英語活動が実施されたため、小学校での取り組みが増えた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施することにより、小中学生が外国語に対する興味を深め、親しむことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	1	22,071	財源内訳	国庫支出金	
	4	2,955		府支出金	
	7	238		起債	
	8	120		分担金・負担金	
	9	526		その他	
	11・12	41			
	14・18	36			
	19	748		一般財源	26,735
	事業費合計	26,735		合計	26,735

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえ町域を超えて有効に活動できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえ町域を超えて有効に活動できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえ町域を超えて有効に活動できた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の経費で行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で行っている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			必要最小限の経費で行っている。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。
A 事業拡大			
C 事業縮小			